

令和2年度 在宅医療・介護連携推進事業

~坂戸市・鶴ヶ島市地域包括ケアシステム推進協議会の紹介~

埼玉県坂戸市
高齢者福祉課長 井田二男

埼玉県 坂戸市・鶴ヶ島市の紹介

令和2年7月1日現在



区分	坂戸市	鶴ヶ島市
人口	100,589人	69,929人
世帯数	46,425世帯	31,666世帯
高齢化率	29.51%	28.54%
日常生活圏域数	5圏域	4圏域

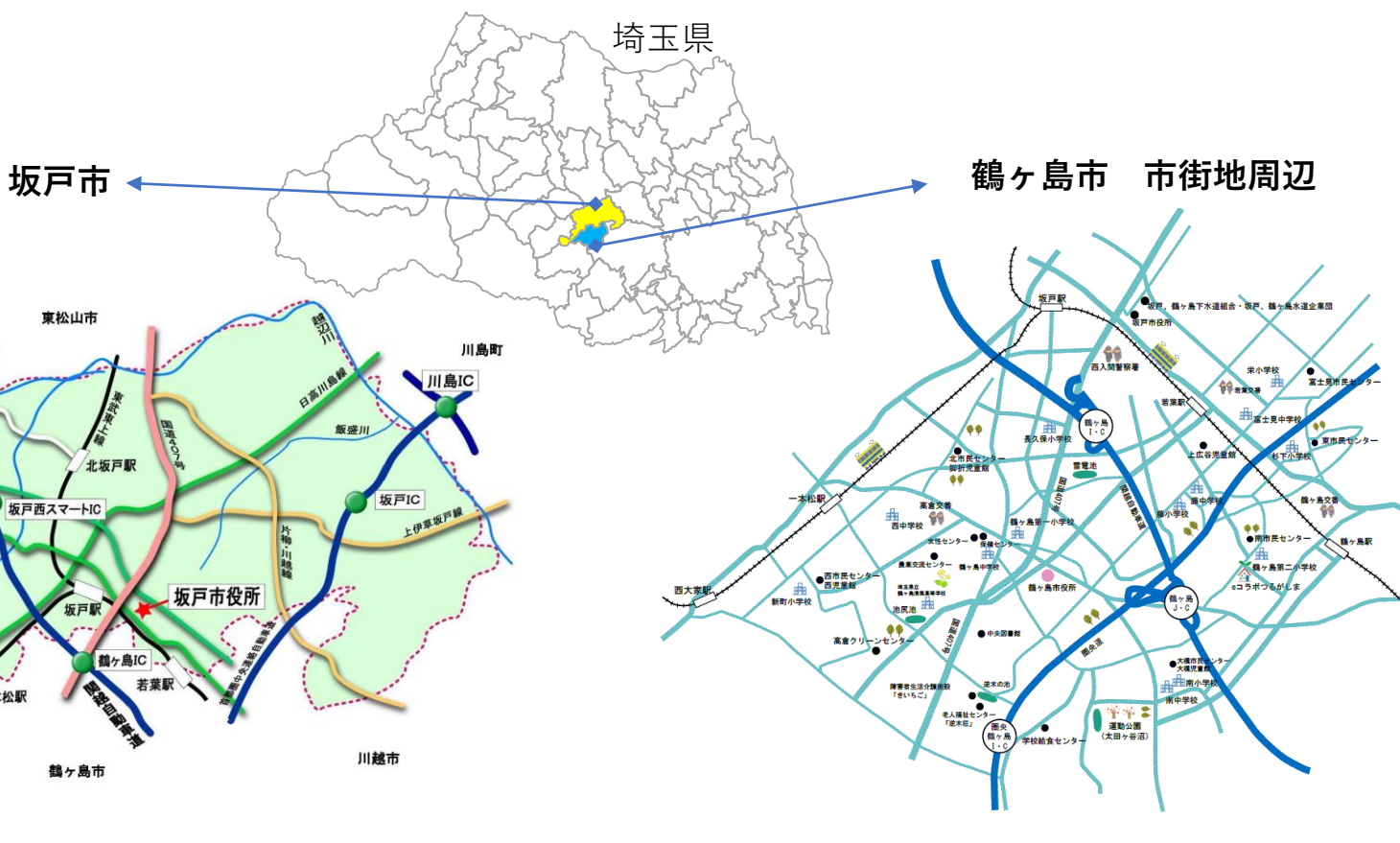


さかろん



つるごん

埼玉県 坂戸市・鶴ヶ島市の紹介



坂戸鶴ヶ島医師会の紹介



会員

坂戸鶴ヶ島市内
開業医と病院院長93名
勤務医49名
合計142人の医師で構成

地域医療

坂戸鶴ヶ島医師会立休日急患診療所

介護事業

居宅介護支援事業所 「さつき」
訪問看護ステーション「さつき」
地域包括支援センター「いきいき」受託
坂戸鶴ヶ島医師会在宅医療相談室

人材育成

坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校など

在宅医療・介護連携推進事業

- ア 地域の医療・介護の資源の把握
- イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- ウ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
- オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- カ 医療・介護関係者の研修
- キ 地域住民への普及啓発
- ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

在宅医療・介護連携推進事業

ア 地域の医療・介護の資源の把握

- 在宅医療相談室に医療連携コーディネーターを配置
- 在宅医療相談室における情報収集
- 往診登録医の管理更新
 - (参考)往診登録医 23件
 - (参考)往診・訪問診療医登録シートの管理
- 療養支援ベッドの管理（埼玉県補助事業）
- M C S（さかつる在宅ケアネット）を活用し、医療・介護関係者との情報共有・情報交換を実施
 - (参考)登録事業者数 80機関
 - (参考)登録者数 214人

※参考データは、すべて令和元年12月時点

※M C S : Medical Care Station

在宅医療・介護連携推進事業

イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ・ 坂戸市・鶴ヶ島市地域包括ケアシステム推進協議会
- ・ 坂戸市、鶴ヶ島市、坂戸鶴ヶ島医師会の3者で設立
- ・ 現在は2つのワーキンググループで検討・協議を実施
- ・ 医療、介護、生活支援など、多岐にわたる課題の洗い出し
- ・ 課題解決に向けた体制の整備について検討

ウ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- ・ 坂戸市・鶴ヶ島市地域包括ケアシステム推進協議会で検討協議

在宅医療・介護連携推進事業

エ 医療・介護関係者の情報共有の支援

- ・ 入退院支援ルールを作成予定（令和2年度）
- ・ 検討メンバー

坂戸保健所（埼玉県）

在宅医療拠点（坂戸・鶴ヶ島市、毛呂山・越生町）

自治体（坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・越生町）

在宅医療・介護連携推進事業

オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ・ 市民及びケアマネジャーや包括職員を対象とした在宅医療に関する相談支援
- ・ 退院支援等に関する病院医療相談室との調整
- ・ 「私の意志表示帳」を職種ワーキングにより改訂 (R1.12、2版発行)
- ・ 市の地域ケア会議に出席

「私の意志表示帳」：平成26年初版・坂戸鶴ヶ島医師会発行

在宅医療・介護連携推進事業

カ 医療・介護関係者の研修

- ・ 多職種連携研修会の開催（年2回）
 - ①在宅医療研修会（ACPに関する研修会）
 - ②多職種による事例検討型グループワーク
- ・ 坂戸鶴ヶ島管内看護連携懇話会の開催

ACP：Advance Care Planning

在宅医療・介護連携推進事業

キ 地域住民への普及啓発

- ・ 市民公開講座の開催
 - ①在宅医療市民公開講座、②認知症市民公開講座
- ・ 出前講座の開催、アンケート集計
- ・ もの忘れ相談医リストの発行（坂戸鶴ヶ島医師会）
- ・ 坂戸市・鶴ヶ島市地域包括ケアシステム推進協議会企画
 - ①医療分野ワーキンググループ→かかりつけ医の普及啓発
 - ②介護分野ワーキンググループ→施設見学会の試行的実施

在宅医療・介護連携推進事業

ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- ・ 坂戸市・鶴ヶ島市地域包括ケアシステム推進協議会による自治体間連携、保健所（埼玉県）等連携

→事業計画に向けた事前打合せ

→地域課題等の共有

医師会や介護保険事業者等による 連携基盤

• 在宅医療等推進委員会 平成19年12月

- 地域医療連携体制を強固なものとし、医療関係者（看護・介護・福祉）の情報を共有する場を構築する
- 主治医との情報共有、連携
- 認知症サポートネットワーク研修会の開催など

• ケアプラン担当者連絡票の開発 平成20年7月

- 主治医とケアマネジャー連携ツール

医師会や介護保険事業者等による 連携基盤

• 地域包括ケアシステムに理解ある医師の存在

- 坂戸鶴ヶ島医師会
会長 小川郁男 医師（平成28年協議会発足当時）
- 地域包括ケアシステム推進協議会会長



• 医療連携コーディネーターの存在

- 坂戸鶴ヶ島医師会在宅医療相談室
室長 清野恵理子 氏
- 医療現場に精通し
介護現場も熟知する存在



地域包括ケアシステム推進協議会の状況

• 平成28年4月 23名

番号	団体名称	委員人数	職種
1	坂戸鶴ヶ島医師会	1人	医師
2	坂戸鶴ヶ島歯科医師会	1人	歯科医師
3	坂戸鶴ヶ島薬剤師会	1人	薬剤師
4	在宅医療相談室	1人	医療連携コーディネーター
5	保健所	1人	
6	病院	1人	病院看護師
7	管理栄養士	1人	管理栄養士
8	理学療法士	1人	理学療法士
9	訪問看護事業所	1人	訪問看護師
10	病院医療相談室	2人	医療ソーシャルワーカー
11	介護事業者連絡会	2人	
12	地域住民代表	2人	
13	社会福祉協議会	2人	
14	地域包括支援センター	2人	
15	高齢者福祉主管課	2人	管理職
16	保健主管課	2人	管理職
合計人数		23人	

• 令和2年4月 36名

番号	団体名称	委員人数	職種
1	坂戸鶴ヶ島医師会	1人	医師
2	坂戸鶴ヶ島歯科医師会	1人	歯科医師
3	坂戸鶴ヶ島市薬剤師会	1人	薬剤師
4	在宅医療相談室	1人	医療連携コーディネーター
5	保健所	1人	
6	病院	1人	病院看護師
7	管理栄養士	1人	管理栄養士
8	理学療法士	1人	理学療法士
9	訪問看護事業所	1人	訪問看護師
10	病院医療相談室	2人	医療ソーシャルワーカー
11	介護事業者連絡会	2人	
12	地域住民代表	2人	
13	社会福祉協議会	2人	
14	地域包括支援センター	9人	
15	高齢者福祉主管課	2人	管理職
16	保健主管課	2人	管理職
17	国民健康保険主管課	2人	管理職
18	市民協働推進主管課	2人	管理職
19	埼玉県歯科衛生士会	1人	歯科衛生士
20	独立行政法人都市再生機構	1人	
合計人数		36人	

地域包括ケアシステム推進協議会の特色

- **2つの自治体と1つの医師会による協働**
- **3者事務局による協働した運営**
- **オブザーバー参加できる開かれた会議**
- **第一線の現場で働く方の集まり**
- **専門職による出前講座の実施主体**
- **医療、介護に限定しない地域包括ケアシステム
5領域の検討**

専門職による出前講座の実施主体

- ・各専門職団体に直接申し込みできる
- ・現在、24講座を開設
- ・出前講座ごとに簡単なアンケート実施

令和2年度版

専門職による 出前講座を 受講してみませんか!

坂戸市・鶴ヶ島市、坂戸鶴ヶ島医師会では、関係機関と連携し、誰もが住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援の充実を目指すための取り組みを行っています。
その一環として、専門職等が地域の学習会や職員向けの研修会に出向く「出前講座」を行っていますので、ぜひご利用ください。



坂戸市・鶴ヶ島市地域包括ケアシステム推進協議会
(坂戸市・鶴ヶ島市・坂戸鶴ヶ島医師会)

～3団体による合同事務局で協議会を運営しています～

坂戸市	高齢者福祉課	049-283-1331
鶴ヶ島市	健康長寿課	049-271-1111
坂戸鶴ヶ島医師会事務局		049-289-2388

坂戸市・鶴ヶ島市地域包括ケアシステム推進協議会
出前講座アンケート

この度は、出前講座をご利用いただきまして誠にありがとうございました。今後の出前講座や、地域包括ケアシステムの充実に向けてアンケートのご協力をお願いします。

なお、このアンケートは統計的に処理するため、回答者が特定されることはございません。レ点を付けるか、記入してご回答ください。

【お住い】坂戸市 鶴ヶ島市 その他()

【性別】女性 男性 トランスジェンダー

【年齢】50歳未満
50歳代 60歳代 70歳代 80歳代 90歳以上

問1 今回の講座に参加した、きっかけをお聞かせください
チラシを見て 知り合いに誘われて 団体の行事として
その他()

問2 出前講座の内容はいかがでしたか?
よく理解できた 理解できた
あまり理解できなかった まったく理解できなかった
どちらともいえない

問3 日常生活の中で、最近感じる困りごとはありますか?
ある! (どのような内容ですか? 複数回答可) ない

物忘れが多くなった 体が不自由になった やる気がなくなってきた
お買い物が大変 調理が大変 掃除が大変 家族の介護が大変
外出する交通手段がない 住まいの環境が大変になった(階段など)
その他()

両面印刷です

問4 あなたは、困ったときに地域で頼れる人等がいますか?
いる↓(複数回答可) いない

家族 親戚 近隣住民 友人 区長 民生委員
NPO ボランティア
医師 歯科医師 病院の看護師 訪問看護の看護師
栄養士 薬剤師 理学療法士等 病院の相談員
介護施設 ヘルパー デイサービス ケアマネジャー
地域包括支援センター 在宅医療相談室
社会福祉協議会 市役所
その他()

問5 あなたは、住み慣れたご自宅が最期まで暮らしたいですか?
はい いいえ

問6 あなたは、支援があれば住み慣れたご自宅が最期まで住み続けられると思いますか?
はい いいえ

問7 高齢者の方が地域で生活を続けるために、今後どのような支援が必要になると思いますか?(複数回答可)

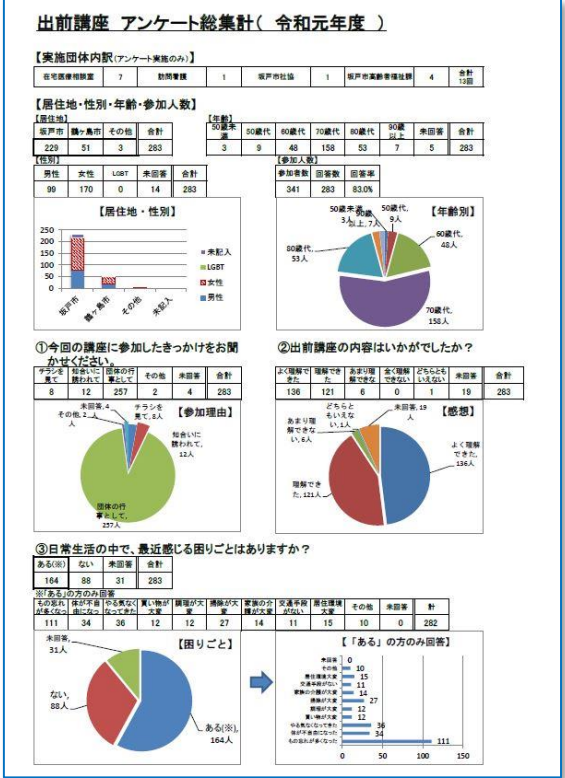
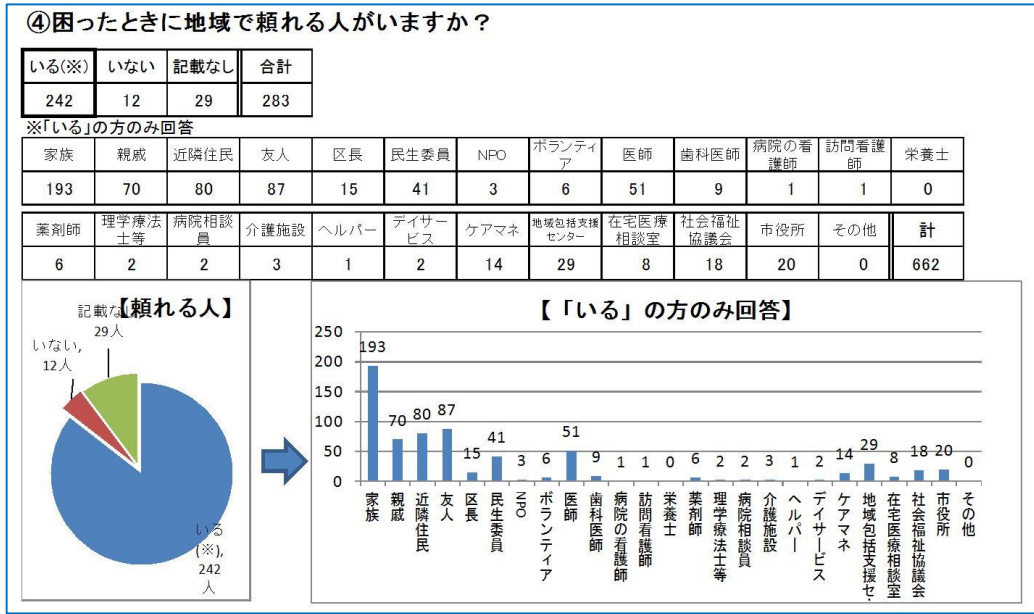
医療 介護 住宅改修など住まいの支援 介護予防の支援
日常生活の支援
その他()

そのほか、ご意見やご要望があれば自由にご記入ください。

アンケートのご協力ありがとうございました。
両面印刷です

専門職による出前講座の実施主体

- ・ アンケート結果のフィードバック
- ・ 地域包括ケアシステムの浸透度の指標



部会の設置

- **医療介護連携推進部会**

- 非公開型医療介護専用SNS（MCS）の普及
- 病院退院時連携検討会の関与など

- **介護予防生活支援部会**

- 生活支援体制整備事業の在り方検討などを議論
- 地域包括ケアシステム住民アンケートの実施など

※SNS：Social Networking Service

※MCS：Medical Care Station

ワーキンググループによる展開へ

• 部会による専門領域の検討

- 全体会議の内容を理解した委員による一体的な議論
- 専門性を生かした議論
- 議題のポイントを絞った議論

• ワーキンググループ化による見える化の加速

- 住民に利用してもらう仕組みの開発
- 医療ワーキング
- 介護ワーキング

医療ワーキング

・在宅医療の啓発を行うためにパンフレット発行

- ・「かかりつけ医の準備をしましょう」を発行
- ・配布先は、医療機関（医科、歯科）、薬剤薬局、公共施設

Q&A

Q1 相談できる窓口がわかりません。

A 相談できる窓口

坂戸鶴ヶ島医師会在宅医療相談室 288-1288
 坂戸市立市民健康センター 284-1621
 鶴ヶ島市保健センター 271-2745

Q2 かかりつけ医を持つことがなぜ必要なのか？

A ささいな体調不良も気兼ねなく相談できます。病歴やアレルギーの有無も把握していることでよりの確かな診断が受けられます。詳しい検査が必要な場合などは専門医を紹介してもらえます。

Q3 ひとり暮らしのため、病気で受診のとき同行してくれる家族がいません。

A 家族ではなくても同行をお願いできる友人、知人はいませんか？
 普段から近所の方や友人とのつながりを大切にして助けられ上手になりましょう。

かかりつけ医の準備をしましょう



発行：坂戸市・鶴ヶ島市地域包括ケアシステム推進協議会
令和2年3月

受診まで

- 1 通いやすいところを見つけてみましょう
- 2 自分の身体のことを伝えましょう
- 3 家族にも相談しましょう
- 4 相談したいことはメモして準備

受診をしたら

- 1 相談したいことはメモを取って確認
- 2 たまには家族と診察を受けましょう
- 3 何度か相談して関係性を深めましょう
- 4 これからの見通しを聞きましょう
- 5 治療選択するのはあなたです

さあ、かかりつけ医を見つけましょう

まず、あなたの普段の医療機関とのかかりについて確認しましょう

定期的に医療機関にかかっている

相談できる医師がいる
それがかかりつけ医です

普段医療機関にかかっていない

相談できない
他に相談できる医療機関等を探しましょう

医療機関にかかったことがない

定期的に健康診断を受けていない
健康診断を受けるところから始めましょう

何度か通って相談しやすい機関を作ってください
それがかかりつけ医です

かかりつけ歯科医

かかりつけ歯科医とは、安全・安心な歯科医療の提供のみならず医療・介護に係る幅広い知識と見識を備え、地域住民の生活にわたる口腔機能の維持・向上をめざし、地域の歯科医療を担う者としてその責任を果たすことができる歯科医師を言います。

1. 乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じた継続管理や重症化予防のため適切な歯科医療、保健指導を行い口腔や全身の健康の維持増進に寄与しています。
2. 地域住民のために行政や関係団体と共に歯科健診などの保健活動等を通じ、口腔保健向上の役割を担っています。
3. 地域の関係機関や多職種と連携し、通院が困難な者にさまざまな療養の場であれど在宅歯科医療や介護サービスを提供し、地域包括ケアに参画しています。

かかりつけ薬剤師

医療機関で処方された薬は、ごこの薬局でも取り扱っていただけますが、処方薬を調剤する薬局や薬剤師を決めておくことで、処方内容や薬の効果・副作用を確認してもらうことができますので安心です。

かかりつけ薬剤師・薬局を持つ主なメリット

1. あなたの過去のお薬の記録（服用記録・アレルギー等）を含めて、服用中のお薬を把握し、一元的・継続的に管理します。
2. 複数の医療機関をご利用の場合、お薬の重複投与や相互作用による副作用を防止するなど、適切なお薬の処方をご提案いたします。また、お持ちのお薬がある場合は、壊れたお薬を再利用する処方調整の提案をしたり、ご自宅での薬の確認・整理を行うこともあります。
3. お薬に関する相談や、健康全般のアドバイスなども行い、風邪薬などの一般用医薬品（OTC医薬品）や健康食品、サプリメント等との飲み合わせも相談できます。

介護ワーキング

- 介護の現場を一般の方に知っていただくための事業開始
- 介護施設等の見学ツアーを開始
- 協議会以外の外部メンバーの参加



介護施設見学ツアーチラシ

坂戸市・鶴ヶ島市地域包括ケアシステム推進協議会

高齢者人口が増加する中、私たちの生活において介護は身近な問題となっています。介護について考える機会として、ご家族やご友人たちと、介護サービスや介護の現場を実際に見学してみませんか？

介護の現場を見に行こう～施設見学会のご案内～



知っているご安心!

- 1 見学施設 裏面のとおりに
- 2 参加費 無料
- 3 参加方法 概ね5人程度で申込み
ただし各団体年度内1回のみ
- 4 見学所用時間 15～30分程度
- 5 見学時期 6月～11月
- 6 申込方法 電話・FAX・メールで申込みをします。
↓
見学希望月、見学希望施設(裏面参照)を伝えます。
↓
在宅医療相談室が見学先の施設と日程調整し、見学日を決定します。
後日連絡しますので、お待ちください。
- 7 集合時間 見学開始時間の10分前までに見学施設にご集合ください。
- 8 交通手段 公共機関をご利用ください。自家用車の場合は、なるべく乗り合わせをお願いします。
- 9 その他 見学会施設往復途上の交通事故及び参加者ご自身のケガ等の補償はございません。

[申込み・問合せ先] 坂戸鶴ヶ島医師会 在宅医療相談室
電話 049-288-1288(月～金曜日 9:00～17:00)
FAX 049-289-6433
メール sakatsurenkei6@icloud.com

見学施設一覧

No.	事業所名	住所	施設PR	持参するもの
1	デイサービスあしたば	坂戸市多和田865-2		
2	デイサービス悠々	坂戸市石井2333-11	小規模で家庭的なデイサービス	
3	だんらんの家坂戸	坂戸市鶴舞2-22-21	定員10名の住宅地内にある一軒家のデイサービス	
4	ステップばーとなー坂戸	坂戸市厚川60-1	元気で活動的な100歳を目指す！フィットネスジム感覚で通えるデイサービス	
5	坂戸サークルホーム デイサービスセンター	坂戸市石井1684		
6	プラチナ・デイ サービス埼玉坂戸	坂戸市元町65-6	介護に不安をお持ちの方はいつでも相談してください	
7	守屋医院老人 デイサービスのぞみ	坂戸市日の出町7-29		
8	清光苑デイサービスセンター	鶴ヶ島市三ツ木855-1		スリッパ
9	デイサービスベルグルー	鶴ヶ島市藤金881-23		
10	レッツ倶楽部鶴ヶ島	鶴ヶ島市松ヶ丘2-9-33	パワーハビリという方法で介護・転倒・認知症予防を行っているアットホームな施設	
11	きらめきりハビリ デイサービス鶴ヶ島	鶴ヶ島市五味ヶ谷230-3	自宅で自立した快適な生活を目標に、機能訓練を中心とした半日型デイサービス	スリッパ
12	特別養護老人ホーム みどりの風 鶴ヶ島 デイサービスセンター	鶴ヶ島市上広谷543-1	広い庭で散歩や野菜作りが楽しめるデイサービス	
13	若葉病院 デイケアセンター	坂戸市戸宮609		
14	介護老人保健施設 すみよし	坂戸市塚越769	可能な限り自立した日常生活を目指すための介護サービスを提供しています	
15	介護老人保健施設 鶴ヶ島ケアホーム	鶴ヶ島市御折1877		

会話のきっかけづくり

- **坂戸市、鶴ヶ島市、坂戸鶴ヶ島医師会連携による「多職種研修会」の様子をご紹介します。**

A C P 研修会の様子をご覧ください
約10分

(研修会の撮影、編集作業は住民の方の協力によるものです)

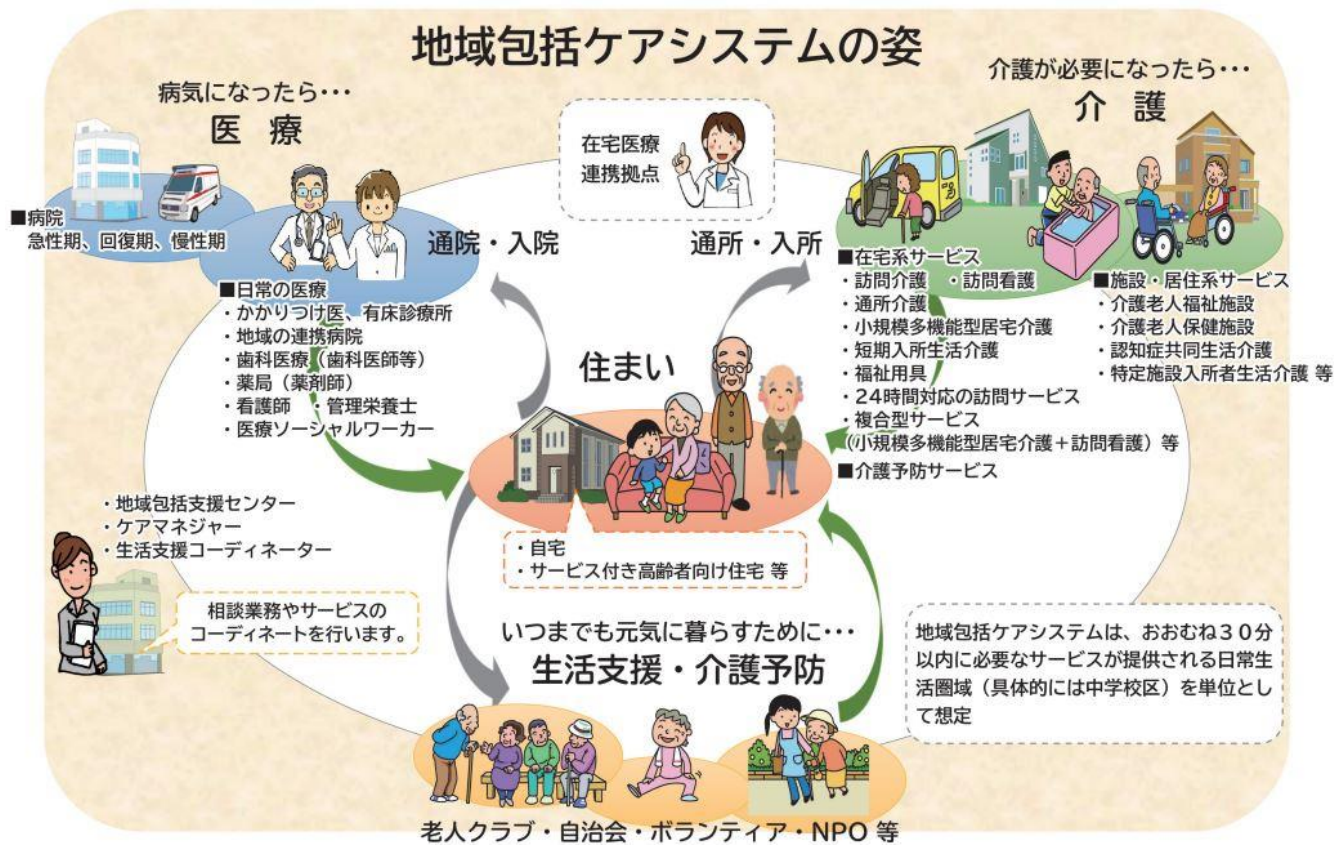
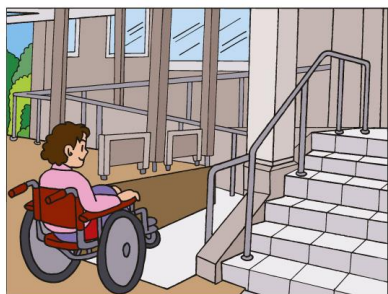
ご覧いただきましたビデオは A C P 研修会の様子です。
(研修会の撮影、編集作業は住民の方の協力によるものです)

令和2年度の展開

・ 介護予防WG



・ 住まいWG



地域包括ケアシステム

- **相互に影響し合う 5 領域**

- 医療、介護、介護予防、住まい、生活支援

- **主人公は住民**

- 体制を作り上げても、主人公不在では意味がない
- 主人公が自ら行動できる仕組みづくりが専門職の役割



ご視聴ありがとうございました

坂戸市・鶴ヶ島市地域包括ケアシステム推進協議会の推進力は、協議会に参加していただいている関係機関の皆様をはじめ、日常的に地域のつながりを推進する地域包括支援センターと地域のみなさまのご努力によるものです。

